



▲米のよしあしを<sup>けんさ</sup>検査し、<sup>しゅつか</sup>出荷します



▲後始末<sup>あとしまつ</sup>された田。冬の間、田を休ませます

### (3) 畑の仕事

畑では、いろいろな作物が<sup>さくもつ</sup>つくられています。畑の仕事もいねと同じように、よい土にするため<sup>ひ</sup>料をまぜます。病<sup>びょう</sup>気や虫の害<sup>がい</sup>から守<sup>まも</sup>るため農薬<sup>やく</sup>をまいたり、ざ<sup>そう</sup>草をとったり、それに手作業の仕事も多いのでたいへんです。また、作物によって<sup>そだ</sup>育<sup>かた</sup>て方もちがうので、いろいろ勉強もしなければなりません。

むかしは、つくったものは、自分の家で食べるだけでしたが、最近<sup>さいきん</sup>では、他<sup>ほか</sup>の町や市に出荷<sup>しゅつか</sup>することも多くなりました。とくに、きゅうり、さやいんげん、トマト、アスパラガスなどは、そのほとんどを<sup>ジュエ</sup>JAなどを通して出荷しています。

農家の人は、37ページの<sup>ず</sup>図からもわかるように、米づくりの仕事と<sup>しゅう</sup>いっしょにするので、<sup>じき</sup>収<sup>しゅう</sup>かくの時期が<sup>いっしょ</sup>にならないような作物や高く売れるような作物をえらんで、くふうしながら仕事をしています。